伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和6年5月11日		
② 法人・団体名	特定非営利活動法人 regional childcare support こはく				
③ 所 在 地	〒377-0205 群馬県渋川市北牧502-3				
④ 責任者氏名	進藤 由紀子	(役職名等)	代表理事		
⑤ 担当者氏名	同上	(役職名等)	同上		

【奨学活動の概要】

⑥助成交付決定番号	R05-005	⑥ 助成金額	100万円	⑧申請カテゴリー	D
⑨奨学活動名	学習や生活に困難を抱える子どもたちへの心と学習の支援活動				
⑩主な実施場所	渋川教室・安中教室・高崎教室				

⑪活動内容とその成果の概要

交付していただいた助成金により、子どもたちの学習支援活動(補習)を無料化することで、保護者の経済 的な負担が減った。また、以下の様な様々な取り組みを行うことができた。

○学びたい子どもたちへの学習支援時間の確保(約13名)

※独自に考案した無料学習チケットを毎月配布し、子どもたちが学びたい時間に自由に使用できるように した。学習時間の延長・補習など各自が自分の必要のある時間に気兼ねなく、学習することができた。

○個別支援の学習時間の充実

※もっと学習時間の必要な子どもにたいし、補習の時間を躊躇なく促すことができた(料金の心配をしないで済むため)。(令和5年度は、特別支援学級在籍の生徒の公立高校進学をさせることができた)

○子どもに対する進路指導またその保護者との話し合いの時間の確保

※個々の希望する自分の未来像などについてよく考えさせる時間が確保できた。また、その子どもたちの想いや願いを保護者と話し合い、親子で思いを一つにし、高校進学の意欲を持たせることができた。そして、それぞれの立場で互いに子どもたちを進学に向けて歩ませることができた。

○高校・大学生に対しての日々の学校生活への助言・支援の時間の確保

②奨学活動の定量的把握(注:統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段①及び様式3-2等でご報告願います。)

支援対象	延べ人数 (A:人)	平均時間 (B:時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	180	1.5	270	一人あたり 1.5H× 1 8回
高校生等	36	1.5	54	一人あたり 1.5H× 1 8回
大学生等	18	1.5	12	一人あたり 1.5H× 1 8回
学習支援員等				
その他	117	2	234	—人あたり 2H×9 回
合 計			570	

令和5年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名:学習や生活に困難を抱える子どもたちへの心と学習の支援活動

法人・団体名:特定非営利活動法人 regional childcare support こはく 作成者 氏名: 進藤 由紀子

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

- 課題○受験に必要な基礎・基本的学習内容定着のための学習時間の確保
 - ○子どもたちとよく向き合い、進学に対する意思を確認し、目的を達成するための個人の 目標の設定

実践内容

- ○子どもたちへ毎月「無料学習支援チケット」を配布し、子どもたちが学びたい時間に それを活用して無料で学習支援を行った。
- ○特別支援学級在籍の生徒は、学校の学習において、学力的な事情もあるのだが、本来学ばなければいけない年間学習計画が未実施のまま進級し、いざ受験という時に受験に必要な学習内容の定着がなされていないことが現実である。そのため、早い時期から公立高校への進学を希望しながらも断念する生徒や保護者が多い。できるだけ中学3年間のうちの学習内容に取り組ませる必要がある。それには、通常の学習支援だけでは支援時間がかかり、保護者の経済的負担も多い。今年度は、その補習の部分を助成金の無料チケットで賄うことができたため、十分な支援時間に充てることができた。そして、本年度も一名公立高校に無事進学させることができた。
- ○高校生は、自分自身を見つめ直し、自分の強みをどう活かしていくのかを考えた。そのためには、何をするべきかという事を考えることにより、まだ学ぶべきことが多いことに気付き、 進学してみたいという意思を確認し、今年度は具体的な進路についての話合いを詰めていく 予定である。
- ○群馬県では、昨年度から入試方法が変わり、戸惑う保護者も多かったので、保護者向けの 話し合いの場を設け、進路について考える機会を持った。

2. 実施した奨学活動の詳細



3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

○週に一度「親に言われるから」とか「仕方ない」と通っているのかと思っていた生徒たちが、 このチケットを自主的に活用するようになり、「残ってやっていいですか。」「○曜日に来てもいい ですか。」と生徒たちが自発的に学ぶ姿が見られてとても喜ばしく思えた。子どもながらに「お金が かかる」ことを心配していて、遠慮してしまっていた子どもがいたことにも気づけた。

この無料チケットを配布させていただいたおかげで、子どもたちの「学びたい」という欲求に応えてあげることができたのでとても充実した9か月であった。

とても良い取り組みができたと感じているので、活動の反省点はありません。が、やはり、自宅へ行かなくてはいけない場合や特別な時間に補習を行ったりした際の光熱費・交通費がかさむことが年間を通じてとても大変でした。

今後も子どもたちの「学びたい」気持ちを汲み、実践してあげられるようにして行きたい。

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等(任意)

中学ニ年生の子どもが山水金を使、て勉強させていただきました。 我が家には、五人の子どもがらため、子ども一人にかけられる 教育費には限界があったので、大灰助かりました。本人に合った 学習支援をしてもらい、日報園外の利用もできたので、ハテレずらでは ありますが、身についてきたかなと感じています。

助成金を「無料チケット」というかたちでで用させて頂き、子ども達が、学習をする事に対して自発的に行えるようになり、とても有難い事でと思いまして。ありがとうございます。 気兼ねなく行けるという事は、生生や 他の子傍童とのコシューケーションも増え、学習が楽しなってきたのだ。と思いず、結果もついてくるようになり、自信にってなかっていると思じまして。

家でなかなか勉強出来ない時や コロナ禍で図書館やフリースペースで 勉強するよりも進藤先生の所で、教えて もらいなから安心して取り組めます。

わらしべ(こは、中学2年生の見)子がお世話(こなっています。無料チケットをいただくことができ、とても助かりました。より多くの時間をわらしべて過ごさせていただくことができて、学習意欲も以前より増した。ように思います。助成金をこのような形で、活用することを考えてくださった進藤矢生にもとても感謝しています。

学習させていただける時間が長くなり大変助かってしまかけで、英語を教えてもらうことかできて英なにもチャレンジするかできなん。本当にありかたいです。

日下年 |年を通して補習をして頂きててもよかったです。 自宅の自室で、免が強に取りを且むというと、うちの子の場合は かはり 集中かが糸売かない戸かがありましたので、三国に「時間子 1世ましたので、毎日下年 |年間で、集中して免が到を介下ることが すべきしたので、毎日下年 |年間で、集中して免が発するよいうことが 身についたのではすないがと思い、大変女喜しく見い、ています。 今年、来年と糸売けて利用させて丁頂(ことができたらと思います。

小学生的5中学生に打り、鬼強の進め的、テスト鬼強のより方は、不安がありました。 通常の支援に見動いているがが、出に補習しても公部時間がお建て、授業やテストの不安は気料的が軽いずりました。 娘も 失生の支援があるから 乳砂魚を楽しくできています。 一般続いて頂かと助ります。

娘は小学生の頃からこけくに通っています。中学へ進学した時に時間を増せしまして、しかし、中学の勉強は難しく時間が足りていないと感じていました。これ以上時間も増せずことは、金銭的に厳しく、自主学習で祈くことも考えましてが、先生にいっち通りに教文えてもらうことに申し訳なくがけませんで助成金をいただけるようになり、いっもより180分多く勉強ができ、苦手などころの復習やテスト前集中して通ったりできました。
ありかしろってずいまして。

チケットを利用させていただいた保護や 子どもたちからの感謝の手紙です。 ありがとうございました。 見了は毎週/回が世話にはっていました。 平日は部活、週末は17ラグケームで野球をしています。 中学1年はから2年生に学年がよかであと乳強が難しくけったと

学習支援の分かりを頂いてからは、「わからはい。」を聞く事かできる様にはり、「わからでの」「できた!!」か、増え、わかると嬉しい様で少しおですが、和に何めの時間が増える様に思います。

我が家は、中学年、中学1年、小学1年の3小3件産を通わせています。 無料4イットとして配布をしていただいた事で、中学生の2人は、時間を気にせずに 等はなて頂いておいます。 勉強も葉性しく はってきているので、そても助かっていまり。 子供達も見いまけっておいます。 2本からも、大切に使用させていただき まれて、一分後ともおか添えをどりで、よろしくお願いいたします。 通常の授業時間以外に 学習支後をして頂けることはそとてもありがたいと見っています。

特にテスト前は不安な所でもかっ度確した、補職できるので

これからもおれけて頂けるとうれしいです。